

## 三重県津市におけるサシバ繁殖地の予測

## Prediction of Grey-faced buzzard breeding grounds in Tsu city, Mie prefecture

○芳賀 広亮, 大野 研  
Kosuke Haga, Ken Ohno

## 1. 序論

里地里山は原生的自然と都市との中間に位置していて、特有の生物の生息・生育環境としてだけでなく、自然資源の供給や景観、文化の継承という点でも重要な環境である。現在は人口減少や高齢化、産業構造の変化により自然資源の循環が少なくなっているため、里地里山の生物多様性の劣化が質と量の両面から懸念されている。サシバはタカ目タカ科のカラスほどの大きさの猛禽類で、九州以北に夏鳥として飛来、冬季は南西諸島・ミャンマー・台湾・フィリピンなどで越冬する。繁殖には谷津田や谷戸の里山環境、草丈の低い環境、林冠の条件が必要であり、里山生態系の指標種として適している。サシバの繁殖地を予測することが出来れば、里山生態系の保全が容易になることに加え、社会基盤計画の際にも有効な指標となることが考えられる。そこで本研究では、三重県津市を対象にサシバの繁殖地を予測することを試みた。なお、研究にあたり日本野鳥の会三重県支部の笹間俊秋氏には、サシバの生態や観察方法など様々な助言を頂いた。厚くお礼申し上げます。

## 2. 研究方法

## 2.1 繁殖条件の設定

タカ類の繁殖の制動要因としては、採食場所と営巣場所が上げられる(樋口, 2013)。サシバに関連する論文・書籍・資料、さらに三重県内で実際にサシバの繁殖が確認されている地域に向かい、繁殖時の行動を実際に観察した。以上から、採食場所と営巣場所についてサシバの繁殖に必要な条件を設定した(表 1)。

表 1 設定したサシバ繁殖条件

条件	理由
森林	営巣の最低条件, 繁殖後期は餌場
森林(水田から半径500m以内) (環境省 サシバの保護の進め方)	行動圏
森林(水田から半径100m以内) (東ら1999, 百瀬ら2005, 伊関ら2017)	水田と森林の接線
好適植生(スギ, アカマツ) (植田ら2006, 伊関ら2017)	営巣木として確認された数が多い

## 2.2 繁殖地の予測

2.21 設定した条件を基に、加点方式で繁殖適性数を算出し(最大値 4)、ArcGIS を用いて地図化した(図 1)。土地利用区分については、国土数値情報の土地利用細分メッシュ、好適植生については環境省自然環境局の植生調査(1/25,000 縮尺)を用いた。

2.22 さらに繁殖に適していると考えられる地点を絞るため、人工物メッシュ(荒地・建物用地・道路・鉄道・その他用地・ゴルフ場)から半径 250m のバッファを発生させた。バッファと重なった範囲を除外し、I で示した 4 点に該当する地域を地図化した(図 2)。そこから

森林と水田の接線が長い地域を繁殖候補地とした。

### ③現地調査

水田調査と飛来調査を行った。水田調査は2019年2月28日に行い、繁殖候補地点で水田の整備度合いを確認した。飛来調査は2019年3月29日、4月9日に行った。

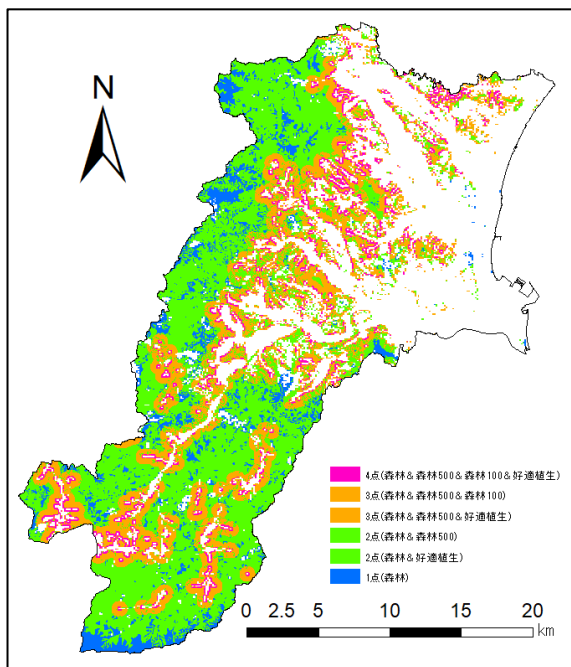


図1 津市のサンバ繁殖適性数マップ

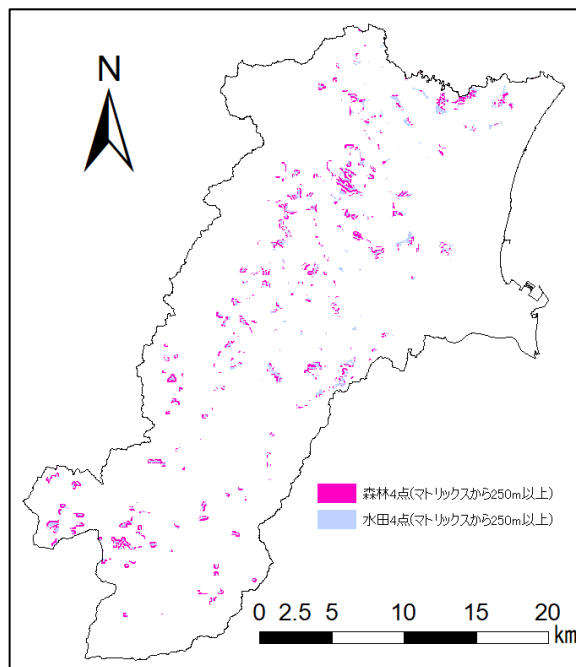


図2 津市におけるサンバ繁殖候補地マップ

### 3. 結果

2019年3月29日の調査では、実際にサシバの飛来を確認できた。またサシバと特定はできなかったが、数回猛禽類の姿を確認することができた。4月9日はサシバを確認できなかった。

### 4. 考察と今後の課題

今回の研究では、データによる繁殖地の条件と実際の繁殖地の条件を比較し候補地を予測した。まだ繁殖地の特定に至ってはいないが、予測した地点でサシバの飛来が確認できたことは一つの成果といえる。しかし実際は耕作放棄されているなど、点数が高く出た地域がすべての条件において適しているわけではない。今後は現地調査の回数を増やし、繁殖地の特定に向けて調査を進めていきたい。

### 5. 参考文献

- ・東 淳樹, 時田 賢一, 武内 和彦, 恒川 篤史(1999): 千葉県手賀沼流域におけるサシバの生息地の土地環境条件
- ・百瀬 浩, 植田 睦之, 藤原 宣夫, 内山 拓也, 石坂 健彦, 森崎 耕一, 松江 正彦(2005): サシバ (*Butastur indicus*) の営巣場所数に影響する環境要因
- ・植田 睦之, 百瀬 浩, 中村 浩志, 松江 正彦(2006): 栃木県と長野県の低山帯におけるオオタカ・サシバ・ハチクマ・ノスリの営巣環境の比較
- ・伊関 文隆, 藤田 剛(2017): 福岡県におけるサシバ *Butastur indicus* の営巣環境—地域によって異なる特性—
- ・樋口広芳編(2013): 日本のタカ学 東京大学出版会 p85-96
- ・環境省 サシバの保護の進め方